

事業所における自己評価結果

(放課後等デイサービス)

公表： 令和4年 3月 31日

事業所名：放課後等デイサービスみつばち

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	4		・利用人数による。 ・把握しづらい室内であるため難しい。
	②	職員の配置数は適切であるか	1	6		・利用人数による。 ・今の職員のできる最善は尽くしていると思う。 ・日によってバタバタする時もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2		・元々が作業棟として使われていた為改善したい場所はある。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	2		・全職員の参加は難しい為、会議録に残し後日確認をしている。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		・業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		・HPで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	2	・未実施である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	4		・コロナ禍でズーム研修への参加はしている。 ・コロナ禍の為難しい。 ・研修のお知らせはこまかくある。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	6	1		・保護者面談や学校の支援計画と共有しながら、日々の子どもの様子を職員間で話し合い、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	1		・会議等で話し合いをしているが十分ではない。 ・会議で決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	2		・担当制で行っている。 ・児童の特性をふまえると固定化した方が良い場合もある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細かに設定しているか。	3	3	1	・スケジュールはあるが全員の課題を細かくは設定していない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2		・個別活動と集団活動の曜日を設けている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	2		・打ち合わせ時間が短く詳細な役割分担まではできていない。 ・兼務職員の為難しい。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		3	3	・次の日の打ち合わせで共有。 ・兼務職員の為難しい。 ・勤務時間が違うので支援終了後の打ち合わせはできない。
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・毎日記録に残し職員間で共有している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	2		・日々の様子を会議で振り返っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	2	1	・地域交流はできていない。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	2		・関係機関との連携はしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか。	5	2		・お便りをもらい確認している。 ・連絡を取り合っている。 ・個人情報の観点から連絡がスムーズに行われない場合がある。 ・連絡調整を適切に行っていると思う。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等と連絡体制を整えているか	3	4		・保護者から医師の指示書をもっている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4		・センター内（児発→放デイ）利用者に関しては情報共有している。 ・児童発達支援事業所との情報共有はできていると思う。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5		・十分ではないと感じている。 ・児童発達支援事業所との情報共有はできていると思う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	5		・児童発達支援事業所との連携はしている。 ・研修はズームが多い。 ・児童発達支援事業所との情報共有はできていると思う。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	・コロナ禍で交流はほとんどない。 ・コロナで難しい。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	4		・放デイ連絡会や児童部会に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		・日々の様子は毎日伝えているが、短時間のため、課題についてより深い話し合いが必要な場合は、面談等の場を設けることが必要である。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1		5	・今後検討していきたい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	2		・契約時にしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	4	1	・関係機関と連携して行っていきたい。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	4	・コロナ禍で保護者会はしていない。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2		・苦情についての対応は迅速にしている。 ・苦情対応の体制はあると思う。子どもと保護者が理解しているかは分からない。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・毎月お便りを出すようにした。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	7			・注意している。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	3		・言葉が難しい方にはメモに書いたり絵を見せてコミュニケーションを図っている。 ・伝言で伝わらない場合はメモで渡す等しているがまだまだ改善できそうな部分はある。
㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	・コロナ禍で行えていない。 ・コロナの影響を受けてるが以前は保護者参加型の行事もあった。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・十分ではない。 ・職員には周知されている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回は行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・代表で参加した職員が会議内で報告をしている。 ・コロナ禍で機会が減少。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に了解を取っている。日々の記録にも残している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示書はないが保護者からの情報で対応している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		2	<ul style="list-style-type: none"> ・記録に残し会議内で対策を考えている。 ・ヒヤリハットは週1の会議で話し合うが、事例集は作成も共有もされていない。